ゼロカーボンの取組に係る意見交換の実施について



〇 意見交換開催概要

項目	内容
開催目的	「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた構成団体等の取組に対 する実務的な意見交換
意見交換テーマ	・脱炭素の取組を進める上での課題への対応・解決方法等について・道が作成した民間事業者向け取組事例集の活用について等
参集範囲	構成団体(会員企業含む)の実務担当者等
開催方法	構成団体を1グループ3~5団体に分けて順次開催 (各団体は1回参加)
意見の活用方法	協議会での共有、国への要望や道の施策への反映等

資料5

ゼロカーボンの取組に係る意見交換の実施について



〇 意見交換開催実績

	開催日時	参加団体等
第1回	2022年11月25日(金) 15:30~16:30	北海道新聞社、北海道農業協同組合中央会、日本旅行業協会
第2回	2022年11月30日(水) 13:30~14:30	北海道森林組合連合会、全国旅行業協会、 北海道トラック協会、北海道バス協会、 北海道ハイヤー協会
第3回	2022年11月30日(水) 15:30~16:30	北海道経済連合会、北海道木材産業協同組合連合会、北海道電力
第4回	2022年12月6日(火) 13:30~14:30	北海道中小企業団体中央会、北海道ガス、北海道銀行
第5回	2022年12月6日(火) 15:30~16:30	北海道商店街振興組合連合会、北海道消費者協会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道機械工業会
第6回	2022年12月13日(火) 13:30~14:30	北海道中小企業家同友会、北海道観光振興機構、 北海道漁業協同組合連合会、北海道信用組合協会、 北海道商工会議所連合会
第7回	2022年12月13日(火) 15:30~16:30	北海道経済同友会、日本政策投資銀行、北海道信用金庫協会、北海道町村会

(敬称略)

ゼロカーボンの取組に係る意見交換の実施について



〇 意見交換会での代表的なご意見

1 セミナー、講演、勉強会関連

ご意見	対応
・ゼロカーボンの知識の浸透のため、勉強会や講義を開いてほしい。・CO2排出量算定の計算方法やメリットを伝える等、行政サイドからも後押ししてほしい。	 ・各団体等からの要望に応じて講演等を実施しました。 (R4実績:35件)。 ・講演等において、ゼロカーボン北海道の意義のほか、CO2 排出量算定の計算方法やメリットなどをより詳しく説明しています。 ・令和5年度は、国や関係団体と連携して、特に中小事業者向けに周知を行っていきます。

2 補助制度関連

ご意見	対応	
・制度があっても設備自体が高額であるなど、資金面でなかなかゼロカーボンに取り組むことができない。	 ・まずは老朽更新や建替等のタイミングで脱炭素化に向けて取り組んでいただけるよう、国・道の支援メニューの活用を促します。 ・道では、令和5年4月に新たに低利融資制度を創設します。 ・今後、引き続き支援・補助制度の拡充等について国に要望します。 	
・ゼロカーボンのあり方をPRしても、メ リットがないと進まない。動機付けにな るものがあると取り組みやすい。	・中小事業者の動機付けとなるようゼロカーボンチャレンジャー登録した事業者へのインセンティブとして、道発注の公共工事での加点評価を実施しています。・今後、金融機関等と連携し、新たなインセンティブの構築を検討します。	
・国、道、市町村、その他団体による支援 メニューの種類が多く、適したメニュー を見つけるのは難しい。	・国・道の脱炭素関連補助施策を取りまとめた「ゼロ北ハンドブック」や、国・道の機関横断的なワンストップ相談窓口「ゼロ北テラス」のさらなる周知を行います。	

ゼロカーボンの取組に係る意見交換の実施について 📝



〇 意見交換会での代表的なご意見

3 次世代自動車導入関連

ご意見	対応
・EV車やFCV車が高額なため、導入が進んでいない。	・国のR4補正「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」において、EV:65万円/台、FCV:230万円/台の支援メニューを設けており、これら支援策の活用を促していくとともに、さらなる支援の拡充について引き続き国へ要望します。 ・道では、EV公用車を休日に地域の方々や旅行者に貸し出すシェアリング事業を3月25日から檜山振興局で開始します。・今後、道公用車の次世代自動車化を進めていきます。
・EV車の充電スポット、FCV車の水素ス テーションの整備が望まれる。	・充電施設や水素ステーションの整備について、適正配置促進のための支援や規制緩和などを引き続き国へ要望します。・国地方支分部局と連携し、「道の駅」における急速EV充電施設の設置を目指した検討を行っています。

4 情報提供関連

ご意見	対応
・事務局からの情報で、適用箇所がイメージできないものは、展開に戸惑う。・メーリングリストで情報を周知しているが、非常に情報量が多い中の1つになるので埋もれてしまう。	・情報を選別し、わかりやすい情報提供に努めます。 ・「ゼロ北メーリス」などによる統一的な周知も活用します。

ゼロカーボンの取組に係る意見交換の実施について 📝



〇 意見交換会での代表的なご意見

5 取組事例集関連

ご意見	対応
・賃貸物件で事業を展開しているため、掲 載されている事例は適用できない。	・「空調設定温度の適正化」など賃貸物件でも適用できる事例を掲載しています。・今後さらに汎用性の高い事例や運用改善事例の掲載を増やすなど、内容の充実を図ります。
・業界になじむ事例がなく、活用のイメージがわかない。・中身を業種別にした方が見やすい。	・今後、初級・中級・上級など取組の熟度に応じた事例数を増やし、業種別に閲覧できるよう作成します。
・事例集にたどり着くまでのホームページ の階層が深く、よほど興味が無いと見な い。	・当課のトップページに掲載していますが、セミナー等を活用してさらなる周知を行います。
・もっとシンプルに文字数を少なくするべき。	・なるべく見やすい資料となるようビジュアル面で工夫していきます。
・取組を知ったきっかけ、背景や意思決定、 資金調達などの周辺情報にも着目すれば 取組みやすいものにならないか。	・実際に取り組んでいる事業者からの声をコラム的に掲載するよう検討します。
・オフサイトPPAの事例は、そういう情報 を求めている事業者が多いと思うため掲 載すべき。	・道内でのオフサイトPPAの導入事例を掲載します。

ゼロカーボンの取組に係る意見交換の実施について 📝



〇 意見交換会での代表的なご意見

6 その他

ご意見	対応
・植林は市町村の土地に実施することが多いが、植える場所が無く困ることがある。	・「ほっかいどう企業の森林づくり」により、企業・団体と森 林所有者(私有林、市町村有林、道有林)とのマッチングを 行っており、ご活用いただくようお願いします。 (窓口:水産林務部森林活用課)
・まず自社の体制整備や計画作りから始めていくことが重要。・省エネ設備の導入検討に対して、まだまだ切迫感がないというのが現実。	・まずは現状認識のため、自社の排出量を知ってもらう排出量 算定ツールの活用を促すとともに、具体的な脱炭素の取組に つなげるため、省エネ診断の周知を行っていきます。